



シャープグリーンフロント堺



堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター



対岸から望む工場群



堺製鉄所が寄贈した転炉鍋が置かれている公園

1959年、堺臨海工業地帯造成計画の企業第1号として八幡製鉄(現・新日鉄)が進出を決定。

堺製鉄所を中心とした一大重化学コンビナートが形成された。

そして現在、充実した港湾施設などの既存インフラ、京阪都心部に近いアクセス性が魅力となり、大規模な工場や商業施設の進出が相次ぎ、堺浜は新たな活力を見せている。



1969年当時の堺浜。  
右上の工場群が堺製鉄所、  
左下は埋立中



現在の堺浜。  
シャープをはじめとする  
工場群、商業施設、公園  
などがある

新日鉄の

**ECO**  
Products

原油タンカーの塗装不要 高耐食性厚鋼板 **NSGP®-1**



NSGP®-1 が採用された大型タンカー "TAKAMINE"

新日鉄の高耐食性厚鋼板「NSGP®-1」(Nippon Steel Green Protect-1)は、油漏れなどの重大事故につながるおそれのある原油タンカーの貨物タンク底面の腐食を防ぐために、新日鉄が日本郵船と共に世界に先駆けて開発した鋼材です。従来の鋼板に比べ約5倍の耐食性を持ち、腐食防止のための塗装を省略することができることから、ランニングコストを大幅に低減し、船舶の安全性を高めるとともに地球環境に優しい鋼材です。

2004年から2年半にわたり新日鉄と日本郵船が協力して行った、大型タンカー(VLCC)への実船適用試験を経て、2007年から本格受注を開始。原油タンカー用の累計出荷量は既に1万トンを超えました。